

ニューマン理論に基づく看護実践を職場に広げる努力：  
それぞれの看護師が自己のケアパターンを認識して、進化させる  
鳥取県立中央病院：樹下 和江、池田 牧

私たちは、2019年8月にがん看護地域公開講座としてNPO本部から講師を招いて学習会を開催しました。「自己の看護実践を進化させよう」をスローガンに、ニューマン理論に導かれて自己のケアのありようを認識して、意識的に望ましい方向に看護実践を進化させよう」というポスターを配布しました。そして、「理論の概要や醍醐味と、実践に導入したら患者と看護師はどのような進化を辿るのか」について講義と対話を取り入れました。開催にあたり HEC 理論を全く知らない看護師にどうすれば関心を持ってもらえるのか、というところでの苦労がありましたが、主催者が「学習会を行ってみたい」というところを楽しむ気持ちからはぶれなかったので、苦労しながらも楽しみつつ準備をすることができました。そして学習会開催後にアンケートをとり、この学習会継続への関心を尋ねました。

第2回学習会は第1回学習会で関心を持った看護師7名が集りました。理論は少しずつ理解を進めていきつつ、学習会の目指すところは「それぞれの看護師が自己のありようを認識して、ケアパターンを進化させる」ところに落ち着きました。

以上の経過の中から、これから学習会を計画したい方々に役立つ内容をお話しします。